

表 EU農業の将来に関する戦略的対話の最終報告書における主要な提言

1. 食料バリューチェーンにおける生産者の地位向上

生産者の協同を推奨し、生産コスト削減や効率性を高める
不公正な商習慣の是正を進め、生産者の所得を増やす

2. 持続可能性向上に向けた新たなアプローチ

農場の持続可能性評価方法について、EU共通のベンチマーク制度を設ける

3. 共通農業政策(CAP)改革

小規模生産者、青年農家や新規就農者などをより手厚く支援する
対策に積極的な生産者への支援強化により、環境、社会、動物福祉(アニマルウェルフェア)分野の成果を普及させる
環境保全や気候変動対策への支援を年々増額させる

4. より持続可能で競争力がある食料システムへの移行の財源確保

官民資金の動員や、CAPとは別枠組みの「公正な移行暫定基金(仮称)」を創設する

5. 通商政策における持続可能性と競争力強化の推進

貿易協定交渉における農業・食品分野の交渉戦略や、交渉開始前に実施する影響評価の実施方法を見直す

6. より健康的で持続可能な食生活

バランスの取れたタンパク質摂取のため、植物由来のタンパク質の摂取を増やすよう消費者を啓発する
EUの食品ラベル関連法令を包括的に見直す
子供向けの製品マーケティングに関連する現行施策の評価報告書を作成する
EUおよび加盟国による持続可能な食品の公共調達を推進し、フードバンクなどへの支援強化に資する政策枠組みを策定する

7. 持続可能な農業生産の推進

化学肥料や農薬の使用削減や、化学肥料生産の脱炭素化などを推進する
有機農業など環境負荷が少ない農業生産を引き続き推奨する
CAPとは別の枠組みで「自然再生基金(仮称)」を創設し、生産者や土地管理者の環境保全対策を支援する

8. 農業分野の温室効果ガス(GHG)排出削減

農業部門ごとのGHG排出量測定システム策定に向けた方法論や、必要な資金調達を可能にする道筋となる施策を策定する
農業部門を対象とする排出量取引制度(ETS)については、関係者や専門家と実効性について協議を続ける

9. 畜産部門の持続可能性向上

科学的根拠や関係者への意見聴取の結果に基づいた畜産部門に関する戦略の策定プロセスを示す
畜産業が特に盛んな地域については、その地域に特化した長期的な解決策を策定し、必要な財政支援を行う
アニマルウェルフェア関連法令の見直しや、EU共通のアニマルウェルフェア・ラベルに関する規制枠組みを策定する

10. 環境保全とイノベーションを活用した植物育種

2050年までに農地の土地利用転換を実質ゼロにするため、法的拘束力を持つ目標を設定する
気候変動に強い、包括的かつ持続可能性のある植物育種を支援する

11. リスク対応と危機管理の強化

農業生産に必要な重要物資の域外依存を低減させる
リスク管理ツールの統合や、生産者の農業保険加入を推進する

12. 多様な人材の確保

農地、資金支援や労働条件の改善を図り、若者や女性など多様な人材の就農を支援する
研修や対話を通じ、スキル習得やより公正な労働条件の実現を宣伝し、人材確保につなげる
長期的なビジョンの実施などによって地域を振興する

13. 新たな知識やイノベーションの活用

イノベーションやテクノロジーの活用を推進し、活用拡大に向けた助言サービスを実施する
研究開発分野における官民協力や投資拡大を推進する

14. 新たなガバナンス、協力体制

関係者間の対話や提言実施に必要な戦略の特定のため、「欧州農業・食品委員会(仮称)」を設立する
行政手続きのデジタル化や簡素化の推進、可能な限り包摂的な政策や意思決定プロセスの実現を目指す